

平成31年度 市民後見人養成研修カリキュラム

区分	No.	科目	内容	時間
基礎 研修	1	市民後見人概論	市民後見人のすすめ・市民後見概論	120
	2	対象者理解	精神医学	90
	3		高齢者の理解・接し方・社会資源	90
	4		障害者の理解・接し方・社会資源	90
	5	成年後見制度の基礎	成年後見制度概論(制度の成り立ち・現状・課題)	90
	6		成年後見制度各論Ⅰ 法定後見制度	90
	7		成年後見制度各論Ⅱ 任意後見制度・公証役場	90
	8		成年後見制度と市町村責任 (首長申立・成年後見制度利用支援事業)	60
	9		社会福祉協議会と権利擁護 (日常生活自立支援事業・生活困窮・成年後見センター)	60
	10	民法その他法律の理解	財産法・家族法・刑法	120
	11		その他の基本法(消費者被害)	60
	12	関連制度・法律の理解	高齢者施策(介護保険制度・高齢者虐待防止法)	120
	13		障害者施策(障害者虐待防止法)	90
	14		関係諸制度(生活保護・健康保険・年金・税制度)	120
	15	市民後見活動の実際	市民後見活動に対するサポート体制(事例・八戸市)	60
	16		市民後見人による実践報告	90
	17	中間テスト	基礎研修	30
	18	体験実習	実習前オリエンテーション	60
実務 研修	19	対人援助の基礎	援助技術、自己覚知	120
	20	体験実習	体験実習	180
	21		実習の振り返り(グループワーク・発表)	90
	22	家庭裁判所の役割	家庭裁判所の実際・申立の流れ	90
	23	成年後見の実務	申立書類の作成	90
	24		就任時の実務	60
	25		財産目録・後見計画・収支予定の作成【演習1】	90
	26		後見人の基本的視点・職務【演習12】	90
	27		財産管理【演習3・10】	90
	28		身上監護【演習6・15】	90
	29		後見終了時の実務・死後事務【演習16】	90
	30	演習・事例検討	高齢者受任ケース	100
	31		障害者受任ケース	100
	32		複数後見人選任ケース	100
	33	テスト	実務研修	30
	34	八戸圏域の現状	各市町村の取り組み状況・社会資源	60
	35	登録説明会		60

【基礎研修(25.5時間) + 実務研修(22.5時間) + 体験実習(3時間) = 51時間】